



## 01 策定にあたって ~背景と計画の必要性~

### (1) 計画策定の背景

**利用ニーズの高まり**  
 ・日常生活の身近な交通手段  
 ・健康にいい、環境に優しい交通手段  
 ・レジャー

**自転車関連事故の増加**

**自転車・歩行車の安全な通行空間の整備が必要**

### (2) 計画の策定

#### 策定の目的

良好な自転車通行交通空間の整備や安全教育・指導等による歩行者や自転車の安全性や利便性の向上

## 02 基本方針 ~多可町における課題を踏まえた取組方針~

### (1) 計画策定の背景 ~各種調査の結果を踏まえて~

#### 1 主な利用者

- ・現状は通学利用の若年層※が大半  
 ※小学生～高校生
- ・今後高齢者の自転車利用の増加を想定  
 (運転免許証の自主返納増加による利用)

#### 2 自転車関連事故の増加

(H23とH28の県民局統計から)

- ・自転車関連事故の割合が**倍増**
- ・事故の総件数は減少(84件→46件)
- ・自転車関連事故は増加(7件→8件)

[H23]

自転車対車両  
8%

[H28]

自転車対車両  
17%

#### 3 利用者の意識

(利用者対象のアンケート結果から)

- ・危険な箇所がある(約2割)  
 ⇒整備が必要な箇所がある
- ・車道通行を知らない(約半数)  
 ⇒ルールの周知が必要

### (2) 取組方針 ~対策はハードとソフトの両輪で~

- ① 若年層や高齢者にも安全で快適な自転車利用通行空間の整備 (ハード対策)
- ② 周知案内や安全指導など(ソフト対策)

## 03 取組の方向性 ~利用環境の整備とマナー向上をめざして~

### (1) 検討の主な流れ

1 計画対象区域【優先的計画策定エリア】の選定 ⇒中区(県立多可高等学校以南)

※ 町役場、学校、病院等公共施設の立地や、自転車利用者が多く、基幹となるルートを設定できるエリアを選定

2 整備に向けた取り組み(ハード対策)

- ① 自転車ネットワーク路線の選定
- ② 路線ごとの整備形態の選定
- ③ 当面の整備計画(概ね10か年)

3 普及に向けた取り組み(ソフト対策)

- ① 自転車ネットワーク路線への誘導
- ② 安全な自転車利用の周知徹底

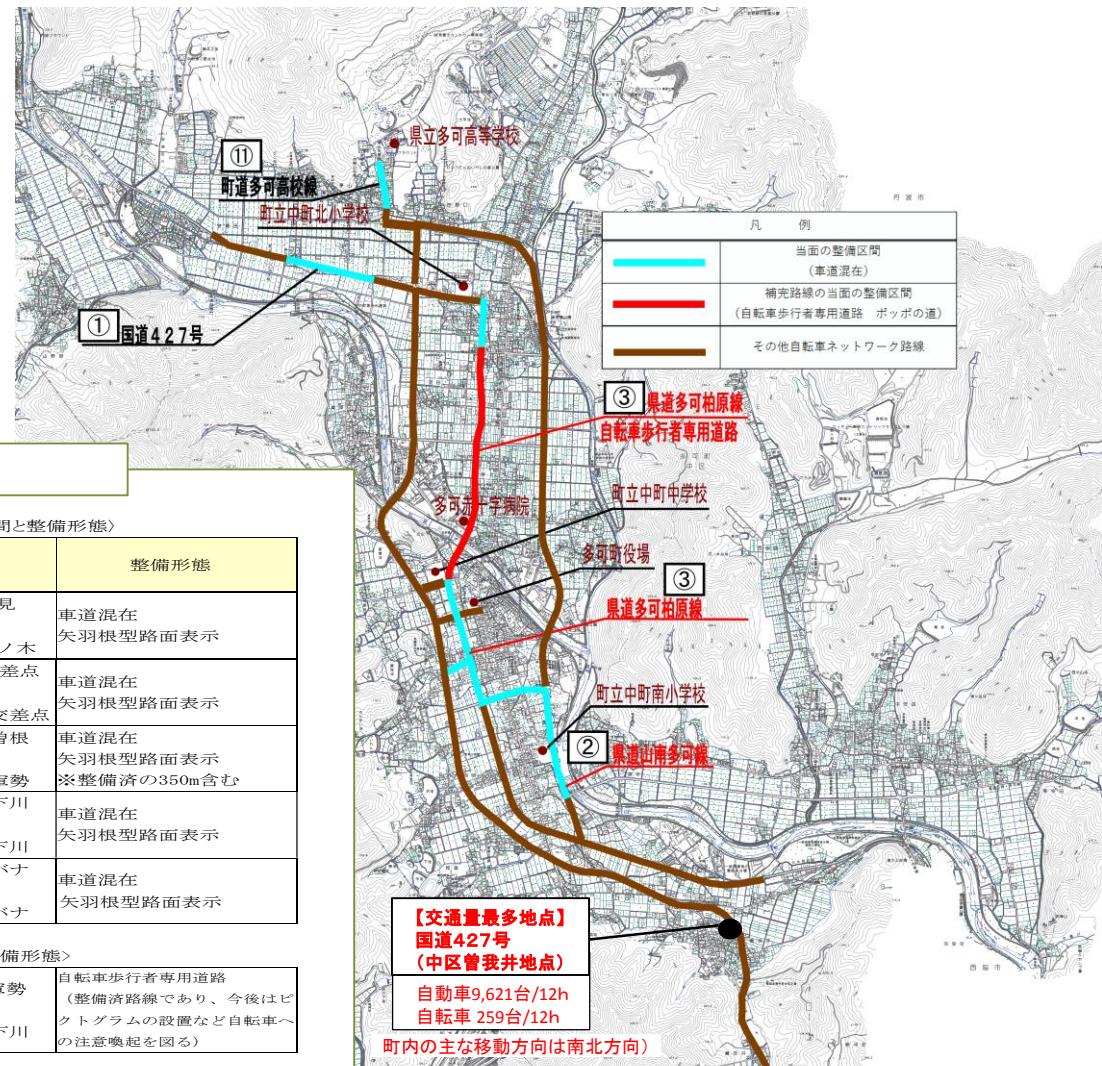
### 2-② 整備形態の種類

整備形態	【整備イメージ】
自転車道	
自転車専用通行帯	
自転車と自動車とを混在する道路(車道混在)	

(1) 歩道のある道路における対策 (2) 歩道のない道路における対策

【路肩・停車帯内対策】 [車線内対策] ※矢羽根型路面表示は歩行者の通行を妨げることがある

### (2) 自転車ネットワーク路線と当面の整備区間



### 2-③ 当面の整備区間の内容

<当面の自転車通行空間の整備計画区間と整備形態>

番号	種別	路線名	整備延長	整備区間	整備形態
①	国道	427号	500m	中区高岸字上見 ～ 中区安楽田字桜ノ木	車道混在 矢羽根型路面表示
②	県道	山南多可線	1,300m	森本中央大橋交差点 ～ あかね坂公園前交差点	車道混在 矢羽根型路面表示
③	県道	多可柏原線	700m	中区茂利字中曾根	車道混在 矢羽根型路面表示 ※整備済の350m含む
			300m	中区鍛冶屋字下川 ～ 中区鍛冶屋字下川	車道混在 矢羽根型路面表示
①①	町道	多可高校線	300m	中区東山字野バナ ～ 中区東山字野バナ	車道混在 矢羽根型路面表示

<補完路線の当面の整備区間と整備形態>

③	県道	多可柏原線 (自転車歩行者専用道路) 通称名: ほっぽの道	1,400m	中区中村町字軍勢 ～ 中区鍛冶屋字下川	自転車歩行者専用道路 (整備済路線であり、今後はピクトグラムの設置など自転車への注意喚起を図る)
---	----	-------------------------------------	--------	---------------------------	---